



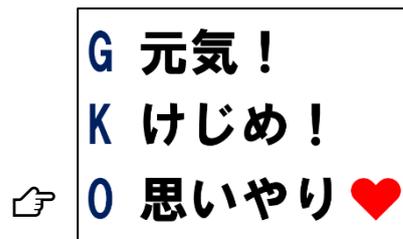
1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

これから始まる中学校生活が、みなさんにとって楽しく充実じゅうじつしたものになるよう、図書館から応援おうえんしています。

進級された2年生、3年生のみなさん、今年度もたくさんの本を読んで、心豊こころゆたかに過ごしてください。

図書館では、G K O（元気・けじめ・思いやり）の特にO（思いやり）を大切に活動したいと思いますので、よろしくお願いします。

（学校司書 板橋 彰子ししょ いたはし）



～ 新学年スタートにあたり、メッセージをいただきました。～

《 福原校長先生（吉中図書館 館長かんちょう）より 》

新しいご本

先日、NHK 連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」は終わりましたが、いよいよ4月です。新学期が始まりました。

4月の本屋さんには、独特どくとくの雰囲気ふんいきがあるように思います。例えば、テレビやラジオの語学講座のコーナー。いろいろな外国語を新たに学ぶための、真新しいテキスト類が山のように積こうけいまれている光景を目にしたことはありませんか。それから、国語や英語の辞書類もたくさん並べられています。

新学期から、これらのテキストや辞書を使って、新しいことを始めよう！新しいことに挑戦ちようせんしよう！という意気込みの表れが強く感じられる場所、それが4月

の本屋さんではないでしょうか。

さて、金子みすゞさんの作品に『四月』という詩があります。



金子みすゞ

新しいかばん、新しい本、
新しいお日さま、新しい空に。
新しい四月、うれしい四月。
新しい葉っぱ、新しいえだに。

新しいかばんに新しい本（教科書でしょうか）を詰めて学校に通ったみすゞさんは、本当にうれしかったのでしょうか。新学期が始まり「さて、今年は何に挑戦しようかしら」などとワクワクしながら考えていたに違いありません。

学校図書館にも、みなさんのそんなワクワクにつながる本がたくさんあると思います。

Let's go to the library !

←この詩が載っている本は、
図書館にも展示しています。

《 村上先生（司書教諭）より 》

本を読むということは、「世界」と出会うことだと思います。自分の知らない文化、価値観、知識との出会い。自分の想像もしたことのなかった物語の世界、人物との出会い。本はたくさんの経験と知識、そして感動を与えてくれます。あなたが本を読むことで手に入れた知識、経験、感動はあなたの人生にとってのかけがえのない財産となります。そして、あなたが物語を読み、そこで出会った世界や人物は、あなたの世界を変えてくれ、ときに支えてくれることでしょう。読書が世界との出会いだと言えるなら、図書館という場所は、そんな世界への入り口だとも言えるでしょう。ぜひ図書館へきてください。たくさんの世界が、あなたを待っています。

